

## わたしたちの物語　戦争と平和

T.Aさん(92才) & 大正大学社会福祉学科3年 先崎結衣さん

私は大連で生まれました。

三年生の時に安東に引越して、六年生の時に終戦を迎えて、一年半もここにいて、日本に引き上げました。

私はね、自分では絵がうまいとは思わないんだけど、

小学校入ったときぐぐらいから、絵を描くとね、

学校の廊下に張り出されたりね、色々絵をよく書かされていたんですよ。

母はね、あなたは大きくなったらね、東京の上野に美術学校があるからね、

今の芸大だね、そこへ行かせてあげるねって言ったの。

だから、私は小学校1年生の時から6年生の時まで、当然、満州の学校を卒業したら、

女学校を卒業して東京の芸大に行かせてくれるって、そう思い込んでたわけ。

自分だけの衣類をリュックに入れて、リュック一つで帰ってきたんですからね、全財産おいて、

ほんとに学校どころではない、ほんとにね戦争は夢や希望を台無しにしちゃうわね、

いま本当に思う事は戦争だけは絶対にするべきじゃない。

私の心の声の一つです。あの当時の夢は全部敗れましたからね

戦争は人生を狂わせ、物を破壊し、人の命を取り合うわけですよ、

人を殺し合うわけですよ、最悪な事ですね、戦争というのは、...

今はほんとにね、どうして人間は戦争をするのか、

ということばかり考えるようになりました。

どうして戦争をやめられないのか、それはつまり心残りです。

8月に終戦があつて、すぐに学校が閉鎖しましたから、それから、学校に行っていないんです。だから、卒業証書をもないんですね。

終戦後は両親が栃木県出身なので、宇都宮にね、引き上げてきて来ました。6年生の3学期だけ、宇都宮の小学校に入りました。

宇都宮に六年間いました。

そして、学校に入るために東京に行つて。

それから、東京、千葉、神奈川の相模原、

それから、ここへ引っ越して来るまでは町田に長いこと居ましたね。

それから、東大の看護学校に入りました。

三年間学校卒業して、東大病院に臨床三年間して、

あと民間の大きな業界の診療所に15年勤務したかな。

そこで結婚したりね、子どもができたり。

子どもが小学校入るときに、一旦やめました。

その時に今までできなかった絵を習いに行つたりね、

デザインや日本画や水墨画やテラスのね、インドアの学校に行つたとか、

50代でしたけれど、趣味をね、ある程度やりました。

そのあと子どもたちがおおきくなつてからは、2、3年ずつ個人のね病院なんかにも務めたりして、70歳まで仕事しました。

老化現象で体力の限界もあるんだろうと思います。

だからね、やっぱり若い時にねしたいことは思う存分しておいたほうがいいです。欲張りぐらいいにやってみてください。

